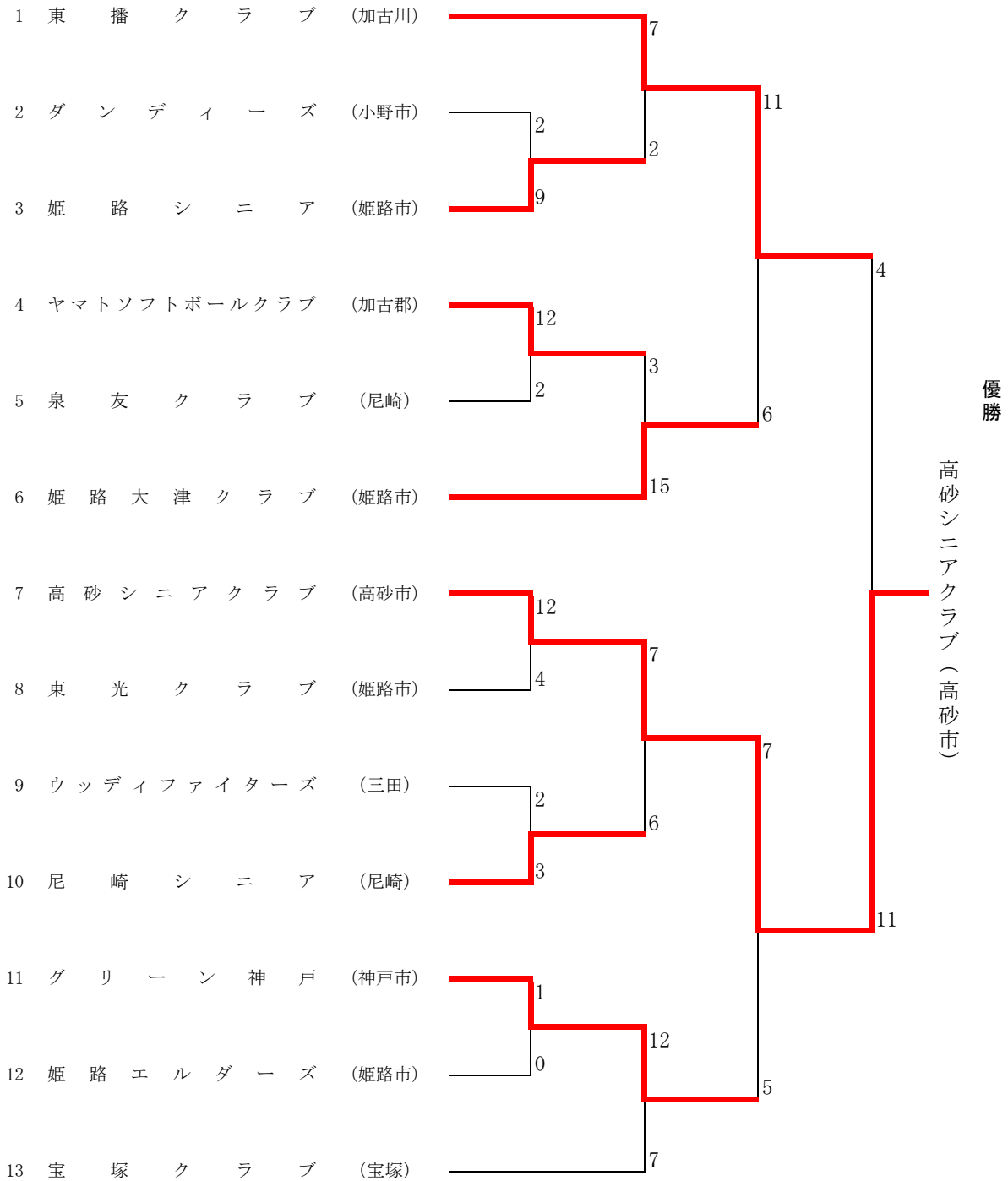




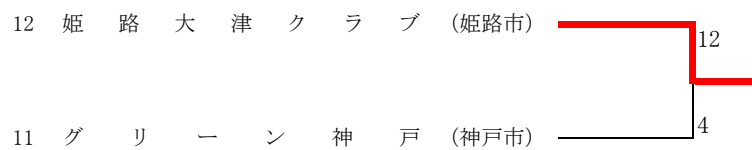
担当課	秘書室
連絡先	079-443-9000

タイトル	高砂シニアクラブ、高砂ハイシニアクラブ ソフトボール全国大会出場 表敬訪問
開催日時	令和7年7月22日(火) 16:00～
開催場所	高砂市役所 本庁舎 4階 秘書応接室
概要 (内容)	<p>高砂シニアクラブ、高砂ハイシニアクラブがソフトボールの全国大会に出場されることの報告に市長へ表敬訪問されます。</p> <p>10月に福岡で開催される第39回全日本シニア大会、9月に新潟で開催される第20回全日本ハイシニア大会に兵庫県代表として出場されます。</p> <p><戦績></p> <ul style="list-style-type: none">・2025年6月29日 第39回兵庫県シニアソフトボール大会 優勝・2025年7月13日 第20回兵庫県ハイシニアソフトボール大会 優勝 <p><出場予定></p> <ul style="list-style-type: none">・2025年10月4日～7日 第39回全日本シニア大会 at 福岡県・2025年9月26日～29日 第20回全日本ハイシニア大会 at 新潟県
主催	高砂市
担当からの アピールコメント	
市ホームページ	掲載あり (ID:) 掲載予定 <input type="checkbox"/> なし
添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

第39回 兵庫県シニアソフトボール大会 結果



近畿代表決定戦



第39回兵庫県シニアソフトボール大会結果

令和7年6月22日,29日
 主催：兵庫県ソフトボール協会
 主管：相生ソフトボール協会

開催地：相生市 会場：相生スポーツセンター(A)

2日目	6月29日	決勝			試合時間：1時間22分							試合No.：12				計	備考	(球)
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
高砂シニアクラブ (高砂市)	0	7	2	1	1										11	得点差 コールド	(一) 佐平 巖	
東播クラブ (加古川)	2	0	0	2	0									4	(二) 高橋 和義			
先攻 (投手) ○榊野 正夫 (捕手) 高津 英治																		
後攻 (投手) ●浅井 憲一, 石坂 文昭, 浅井 憲一 (捕手)																		
先攻 (本塁打) ----- (三塁打) ----- (二塁打) 大畑 巡二, 堀内 厚, 増田 敏幸②, 久保 喜敬②																		
後攻 (本塁打) ----- (三塁打) ----- (二塁打) 斎藤 一雄, 藤田 大介																		
特記事項																		

会場：相生スポーツセンター(B)

2日目	6月29日	準決勝			試合時間：1時間32分							試合No.：10				計	備考	(球)
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
東播クラブ (加古川)	2	0	1	1	7										11	時間切れ	(一) 馬場 正範	
姫路大津クラブ (姫路市)	1	4	1	0	0									6	(二) 本郷 忠彦			
先攻 (投手) ○浅井 憲一 (捕手) 横木 正吾																		
後攻 (投手) ●森下 恵介, 梶原 久義 (捕手) 前川 清志																		
先攻 (本塁打) ----- (三塁打) ----- (二塁打) 平瀬 伸二, 大西 生也, 浅井 憲一②, 金谷 英樹, 藤田 大介, 奥野 博																		
後攻 (本塁打) ----- (三塁打) ----- (二塁打) 三浦 敏也, 山本 裕之, 一宮 守広②																		
特記事項																		

会場：相生スポーツセンター(A)

2日目	6月29日	準決勝			試合時間：1時間20分							試合No.：11				計	備考	(球)
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
グリーン神戸 (神戸市)	0	1	2	2											5	時間切れ	(一) 高橋 和義	
高砂シニアクラブ (高砂市)	1	0	1	5x										7	(二) 山岡 浩二			
先攻 (投手) ●松谷 茂雄, 塚田 勝則 (捕手) 寺内 敏勝																		
後攻 (投手) ○榊野 正夫 (捕手) 高津 英治																		
先攻 (本塁打) ----- (三塁打) ----- (二塁打) 寺内 敏勝																		
後攻 (本塁打) 久保 喜敬 (三塁打) ----- (二塁打) 堀内 厚, 久保 喜敬, 高津 英治																		
特記事項																		

会場：相生スポーツセンター(B)

2日目	6月29日	代表決定戦			試合時間：1時間30分							試合No.：13				計	備考	(球)
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
姫路大津クラブ (姫路市)	4	4	4	0											12	時間切れ	(一) 古沢 公一	
グリーン神戸 (神戸市)	0	0	0	4										4	(二) 本郷 忠彦			
先攻 (投手) ○梶原 久義 (捕手) 喜多村 和弘																		
後攻 (投手) ●塚田 勝則, 松谷 茂雄 (捕手) 寺内 敏勝																		
先攻 (本塁打) ----- (三塁打) ----- (二塁打) 三浦 敏也, 一宮 守広, 前川 清志																		
後攻 (本塁打) ----- (三塁打) ----- (二塁打) -----																		
特記事項																		

第 39 回兵庫県シニアソフトボール大会



優勝 高砂シニアクラブ（高砂市）



準優勝 東播クラブ（加古川）



第3位 姫路大津クラブ（姫路市）



第3位 グリーン神戸（神戸市）



シニアとは、(公財)日本ソフトボール協会・チーム登録規程で「同一都道府県内に居住または勤務する59歳以上(当該年度4月1日現在)の男子によって編成されたチーム」と定められている。大会創設当初は、年齢の制限が「60歳以上」であったが、全国健康福祉祭(愛称:ねんりんピック)のソフトボール競技の参加資格が「59歳以上」であったことから、それに合わせる形となり、現在に至っている。
この「シニア」も生涯種別であり、生涯種別の試合・大会はゴムボールを使用して行われる。

シニアの全国大会は、現在「全日本シニア大会」が開催されており、各都道府県予選を勝ち抜いた48チーム(開催地は2チーム出場)が一堂に会し、例年9月下旬～10月初旬に開催されている。
この大会は、1987年に創設された大会で、壮年大会に続いて創設された生涯種別では2番目に長い歴史を持つ大会である。また、創設初年度は春季大会と秋季大会が行われており(大会の歴史的には春季・秋季合わせて「第1回」とカウントしている)、翌年の第2回大会から年1回の開催となっている。

大会結果をみると、上郷クラブ(長野)が1988年の第2回大会～1990年の第4回大会まで3連覇(1987年の第1回大会/春季大会を制した上郷クラブAを含めると4連覇)を飾っている。その後は毎年優勝チームが変わる状況が続いていたが、2015年の第29回大会～2016年の第30回大会と2022年の第36回大会～2023年の第37回大会で、好投手・安武雄二を擁するK・Sクラブ(熊本)が、2回の2連覇を達成している。

K・Sクラブ(熊本)の「エース」安武雄二は、2013年の第27回大会でチームを初優勝に導いているが、同年の「第22回全日本実年大会」にも三友クラブ(熊本)の「エース」として出場。10歳近くも「年下」の選手を相手に優勝を成し遂げるといって「快挙」を成し遂げ、シニアのダブルタイトルを手に入れている。



[その他競技部門のニュースはこちら](#)

2025

2025 / 2024 / 2023 / 2022 / 2021 / 2020 / 2019 / 2018 / 2017 / 2016 / 2015 / 2014 / 2013

シニア/大会情報

第39回全日本シニア大会

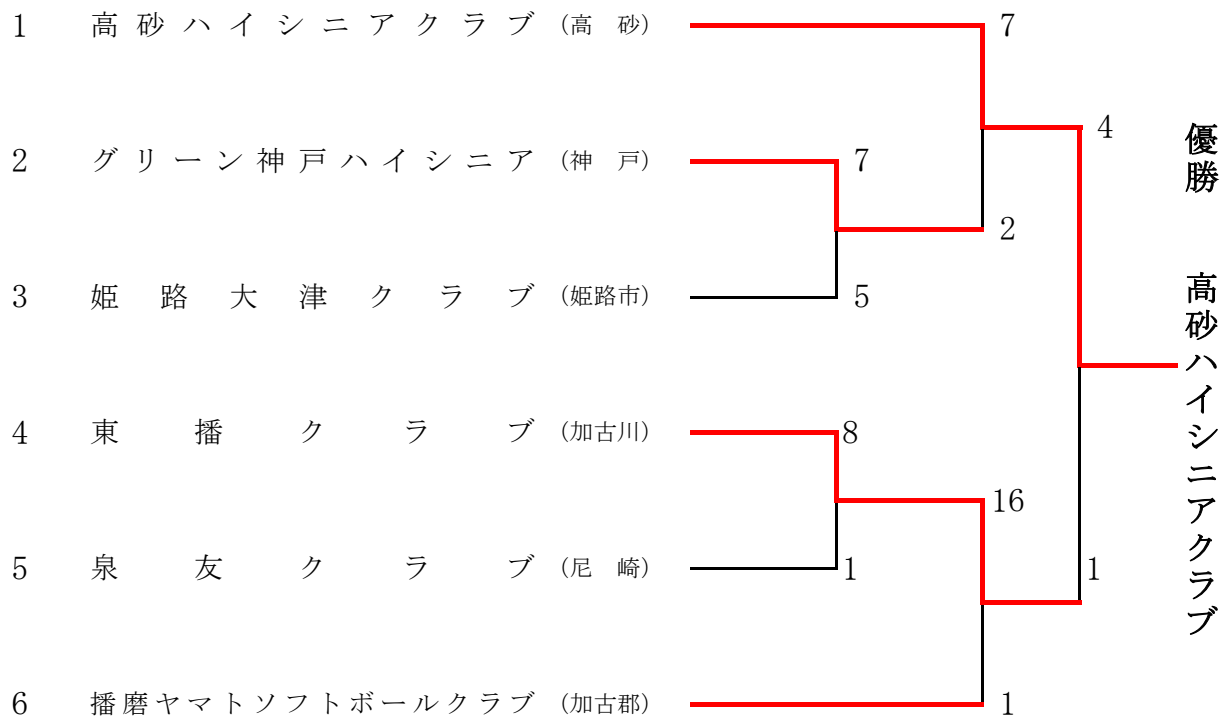
期間	10月4日(土)～7日
監督会議・開会式	10月3日(金)
場所	福岡県 福岡市
参加チーム数	48

第20回兵庫県ハイシニアソフトボール大会

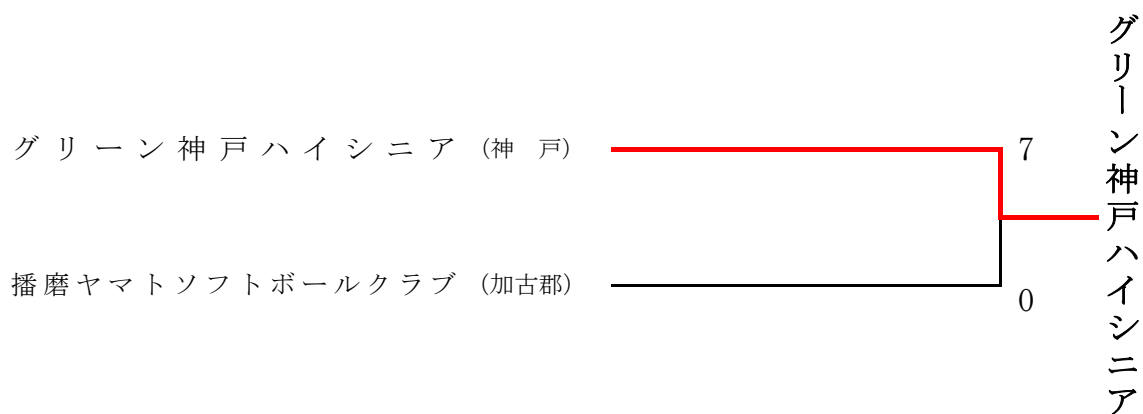
《大会結果》

期 日 令和7年7月12日(土)～13日(日)

会 場 名色高原グラウンド



《近畿大会代表決定戦》



第20回 県ハイシニアソフトボール大会 結果

令和7年7月13日
 主催：兵庫県ソフトボール協会
 主管：但馬ソフトボール協会

開催地：豊岡市 会場：名色高原グラウンド

2日目	試合日	決勝			試合時間：1時間23分							試合No.：5				計	備考	(球) 山根 和彦 (一) 田畑 雅啓 (二) 吉井 鉦平 (三) 今西 義将 (副) 徳網 幾雄 (記) 栄羽 勝
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
高砂ハイシニア (高砂)	1	0	2	0	0	1	0								4		放送宿南 梨恵子	
東播クラブ (加古川)	0	0	0	1	0	0	0								1			
先攻 (投手) 耕作 明、○栞野 正夫 (捕手) 大道 幸辰																		
後攻 (投手) ●石坂 文昭 (捕手) 山口 光彦																		
先攻 (本塁打) ----- (三塁打) ----- (二塁打) 木村 勝美																		
後攻 (本塁打) ----- (三塁打) ----- (二塁打) -----																		
特記事項																		

会場：名色高原グラウンド

2日目	試合日	準決勝			試合時間：1時間20分							試合No.：4				計	備考	(球) 田畑 雅啓 (一) 吉井 鉦平 (二) 今西 義将 (三) 徳網 幾雄 (副) 山根 和彦 (記) 栄羽 勝
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
東播クラブ (加古川)	7	4	0	4	1										16	時間切れ コールド	放送宿南 梨恵子	
播磨ヤマトソフトボールクラブ (加古郡)	0	0	0	1	0										1			
先攻 (投手) ○石坂 文昭 (捕手) 山口 光彦																		
後攻 (投手) ●寺田 正一、釜我 禎一 (捕手) 大谷 渡																		
先攻 (本塁打) 斎藤 直樹② (三塁打) ----- (二塁打) 上村 重樹																		
後攻 (本塁打) 上岡 敏伴 (三塁打) ----- (二塁打) 釜我 禎一																		
特記事項																		

会場：名色高原グラウンド

2日目	試合日	準決勝			試合時間：1時間36分							試合No.：3				計	備考	(球) 石坪 久朗 (一) 垣内 孝裕 (二) 中嶋 賢史 (三) 前田 博 (副) 上田 正吉 (記) 古林 亜美
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
高砂ハイシニア (高砂)	0	0	4	0	3										7	時間切れ	放送 道仲 眞由美	
グリーン神戸ハイシニア (神戸)	0	0	0	1	1										2			
先攻 (投手) ○栞野 正夫 (捕手) 大道 幸辰																		
後攻 (投手) ●松谷 茂雄、塚田 勝則 (捕手) 倉持 哲夫、名津井 利夫																		
先攻 (本塁打) ----- (三塁打) ----- (二塁打) 山口 福夫																		
後攻 (本塁打) ----- (三塁打) ----- (二塁打) 外山 睦夫																		
特記事項																		

会場：名色高原グラウンド

2日目	試合日	代表決定戦			試合時間：1時間36分							試合No.：6				計	備考	(球) 上田 正吉 (一) 中嶋 賢史 (二) 前田 博 (三) 垣内 孝裕 (副) 石坪 久朗 (記) 古林 亜美
チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14				
グリーン神戸ハイシニア (神戸)	2	1	0	0	0	4									7	時間切れ	放送 道仲 眞由美	
播磨ヤマトソフトボールクラブ (加古郡)	0	0	0	0	0	0									0			
先攻 (投手) ○塚田 勝則、松谷 茂雄 (捕手) 名津井 利夫																		
後攻 (投手) ●釜我 禎一 (捕手) 大谷 渡																		
先攻 (本塁打) ----- (三塁打) ----- (二塁打) -----																		
後攻 (本塁打) ----- (三塁打) ----- (二塁打) 梅瀬 英夫																		
特記事項																		

第 20 回兵庫県ハイシニアソフトボール大会



優勝 高砂ハイシニア（高砂市）



準優勝 東播クラブ（加古川）



第3位 グリーン神戸ハイシニア（神戸市）



第3位 播磨ヤマトソフトボールクラブ（加古郡）



ハイシニアとは、(公財)日本ソフトボール協会・チーム登録規程で「同一都道府県内に居住又は勤務する68歳以上(当該年度4月1日現在)の男子によって編成されたチーム」と定められている。男性の生涯種別の最上級(最高齢)のカテゴリーであり、2016年まで「65歳以上」であった年齢制限が、2021年「68歳以上」にまで引き上げられた。

これは、平均寿命・健康寿命の延伸に伴うもので、従前の「65歳以上」では年齢を重ねた選手たちの出場機会がどうしても少なくなってしまうことから、このような措置がとられることになった。

この「ハイシニア」も生涯種別であり、生涯種別の試合・大会はゴムボールを使用して行われる。

ハイシニアの全国大会は、現在「全日本ハイシニア大会」が開催されており、各都道府県予選を勝ち抜いた48チーム(開催地は2チーム出場)が一堂に会し、例年10月中旬～下旬に開催されている。

この大会は、2006年に創設された大会で、壮年・実年・シニアと出場してきた選手たちが、徐々に年齢を重ね、さらに「上」のカテゴリーを求める声に応じて創設された大会である。平均寿命・健康寿命の伸びた今日では、「古稀大会」(70歳以上)の大会の創設を求める声もあり、すでに「スーパーシニア」等と銘打って「ハイシニア」より上のカテゴリーで大会を実施している地区もある。

大会結果をみると、2006年の第1回大会から2011年の第6回大会まで毎年優勝チームが変わっていたが、2012年の第7回大会から清水九十九クラブゴールド(静岡)が3連覇を達成。2015年の第10回大会は四日市ハイシニア(三重)が優勝を飾り、2016年の第11回大会では、この「両雄」が決勝で激突。四日市ハイシニア(三重)が清水九十九クラブゴールド(静岡)を5-2で破り、「連覇」を成し遂げた。



[その他競技部門のニュースはこちら](#)

2025

2025 / 2024 / 2023 / 2022 / 2021 / 2020 / 2019 / 2018 / 2017 / 2016 / 2015 / 2014 / 2013

ハイシニア/大会情報

第20回全日本ハイシニア大会

期間	9月26日(金)～29日
監督会議・開会式	9月25日(木)
場所	新潟県 新潟市・燕市
参加チーム数	48